

派遣留学生帰国報告書

オンラインで留学先大学の授業を受講

* 帰国後の情報を入力してください

記入日	2021/6/29		
所属学部・ 研究科・学府	法政経学部		
所属学科・専攻	法政経学科経済学コース		

1. 留学先について

留学先大学名	東フィンランド大学						
留学先所属学部等	Philosophical Faculty / Applied Educational Science and Teacher Education						
留学期間	出発日	入学日	2021/1/7	修了日	2021/5/21	帰国日	
住居	大学(紹介)の寮・アパート	民間アパート	その他(自宅)				
	通学時間	On campus					
	通学方法						
	居室スペース	個室	() 人部屋	その他()			
	共有スペース	完全個室	キッチン	トイレ	バス	リビング	その他()
食事	自炊	学食	外食	その他	()		
保険	海外旅行保険(名称)						
	留学先国・大学指定 の保険(名称)						<input type="checkbox"/> 加入必須
	その他						
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)						
	⇄			⇄			

2. 留学にかかった費用について

総費用	円						
出どころ							
自費	貯金	円	アルバイト	円	その他	円	
援助	親	円	家族・親戚	円	その他	円	
奨学金	JASSO	円	その他名称()	円			
その他	その他()					円	

2-1. お金の管理方法

渡航時	現金	円	その他()	円
留学中	海外送金	キャッシング	その他()	

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	
住居にかかった費用	
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額
	通貨単位		
渡航費(往復)			円
海外旅行保険			円
危機管理サービス			円
査証・在留許可証			円
住居			円
光熱費			円
食費			円
通学に要する交通費			円
教科書、教材費			0 円
その他大学に支払った経費			0 円
その他 ()			円
その他 ()			円
その他 ()			円
その他 ()			円

3. 学業面

履修科目名	種類 ^{ex.正規、聴講}	単位数	単位互換認定申請の有無	
			有	無
1 Compinents of Cultural Multiplicity	正規	5ECTS	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2 Approaches to Special Education in Finland	正規	3ECTS	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

3-1. 授業科目の選択、登録方法

登録にはWebOodiというポータルサイトを使います。自分のStudent IDを使えるようになったら、履修登録することができます。学期が始まる前にstudent IDを申請して大学のIT servicedeskからの運用許可を得るのですが、私はなかなかそのメールが来なくて、授業開始日の1月7日が過ぎても履修登録ができずに焦りました。ですがウェブ開催のオリエンテーションで、同じような状況の学生がたくさんいることがわかり、申請に時間がかかることやメールが来ない時の対処法を教えてもらったので、翌日には許可が下り大丈夫でした。Student IDの申請の連絡が来たらなるべく早く手続きをとると安心だと思います。

3-2. 授業内容、方法に関して

オンラインのコースを二科目受講しました。どちらもMoodleを介して講義資料を得たり、課題を提出したりします。一つは、コースのはじめと終わりの二回リアルタイムのミーティング(一時間半くらい)があり、日本時間の夜(20:00ごろ)に参加しました。また、その間はMoodleに示された教科書や資料を読み、提示されたいくつかのテーマから自分で選んで四つの課題に取り組む形態でした。課題の中には、Moodle上でほかの学生と議論するものもありました。もう一つは、オンデマンド型です。毎週掲載される動画と関連資料を参考に、レポート課題に取り組めます。二回のミーティングを除けば、二つの授業とも自分の生活スタイルに合わせて受講できるものでした。

3-3. 語学力について

上記の二回あったミーティングでは、他の学生のスピーキング能力がかなり高く、聞くことだけで必死でした。それを克服できる機会がなかったことは残念でしたが、その他の課題でのライティングは論理的に分かりやすい英語で内容を説明できるように改善していくことで十分だったと感じます。また、オリエンテーションや講義でのリスニングは同じノンネイティブの方々なので、ゆっくりと分かりやすい英語で話してくれてしっかり理解できました。

3-4. 図書館など学内施設について

図書館に蔵書してある本は電子書籍で出版されているものなら、ウェブ上で閲覧できます。たいていの本はウェブ上で見られると思います。その時にStudent IDが必要なものもあります。

3-5. その他

2回のミーティングは、Microsoft Teams で行いました。UEFの大学メール(Student IDと同時に使えるようになります)に、履修した教科の詳細情報(ミーティングの時間やURL、初回授業のことなど)が教授から送られてきます。困ったことがあれば、シラバスに掲載されている教授に大学メールを使ってメールを送ることができます。

4. 生活面

4-1. 住居について

4-2. 食生活について

4-3. インターネット環境、携帯電話について

4-4. 服装について

4-5. 健康管理について

4-6. 保険、危機管理サービスの利用について

4-7. 課外活動について

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

4-9. 日本から持参してよかったもの

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

近所の散歩に行く。家ではないほかの場所で勉強する。

5. その他

5-1. 留学先大学について

東フィンランド大学では、留学生に対するサポートが手厚くとてもありがたかったです。HPは分かりやすい英語で何でも書いてあり、調べて分からないことは留学生担当の方にメールして解決することができました。なかでも、チューターの制度はとても良いと思います。私は学期前にいろいろある手続き(IDの取得や履修のこと、教授への連絡など)がよくわからず、チューターの方にとってもお世話になりました。留学生を何人も担当されている方なので、分かりやすく丁寧に教えてくれました。また、様々な国の留学生がいることが魅力だと思います。私が関わったのはほとんどヨーロッパの学生でしたが、ヨーロッパの中でもいろいろな国の学生がいて議論の時は面白かったです。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

留学を考える上で期待と同時に、不安なこともあると思います(私は当初いざ留学が決まったものの不安だらけでした…笑)。けれど、この派遣留学を検討している時点で成長したい気持ちとやりたいことがたくさんあるはずなので、きっと自分の思い描く成長と共に、不安や様々な試練を乗り越えることから他にもたくさん得られることがあります。やりたい、挑戦したいという気持ちを大切にぜひ実行に移し、自分だけの留学経験をつくってほしいと思います。

5-3. 留学を終えて

オンライン留学を経験し、新たな視点から物事を考える姿勢と、周りの人にサポートしてもらいながら主体的に取り組む姿勢を学ぶことができました。渡航できないと分かりしばらくは、現地で生活したくさん人と交流することで新たな価値観や視野を得ることを大きな目的としていたために、渡航できなくオンライン留学をすることの意義が見出せませんでした。ですが留学をしたかった理由の一つに、フィンランドの大学で授業を受けたいということもあったので、一度オンラインで経験しようと決断しました。そこで実際にオンライン留学を終えて、授業を通して新たな視点から日本社会や教育について考えるきっかけを得ることができました。また、オンライン留学を決めるまで、決めてから始めるまで、始まってから、と本当に長い間たくさんの方々を助けていただきました。自分でする留学とはいえ悩みもわからないことも本当に多く、自分だけではどうにもできないことがたくさんありました。そのようなときに、留学生課の方をはじめ、家族や友人、ゼミの先生などいろいろな人に相談しいろいろなアドバイスを得られたことで、乗り越えることができました(オンライン留学では身近な人にすぐ相談できることも良いところのひとつです)。一人で行う主体性はとても重要ですが、頼ることを通じて自分の気持ちをポジティブに保ち、より良い経験ができるということを実感しました。いろいろな方にサポートをしていただき本当に感謝しています。たくさん悩み、それをサポートしてもらいながら自分だけの留学をできたこと、この経験は今後の人生で必ず活きると思っています。これから新たな気持ちで頑張ります。